



Strada

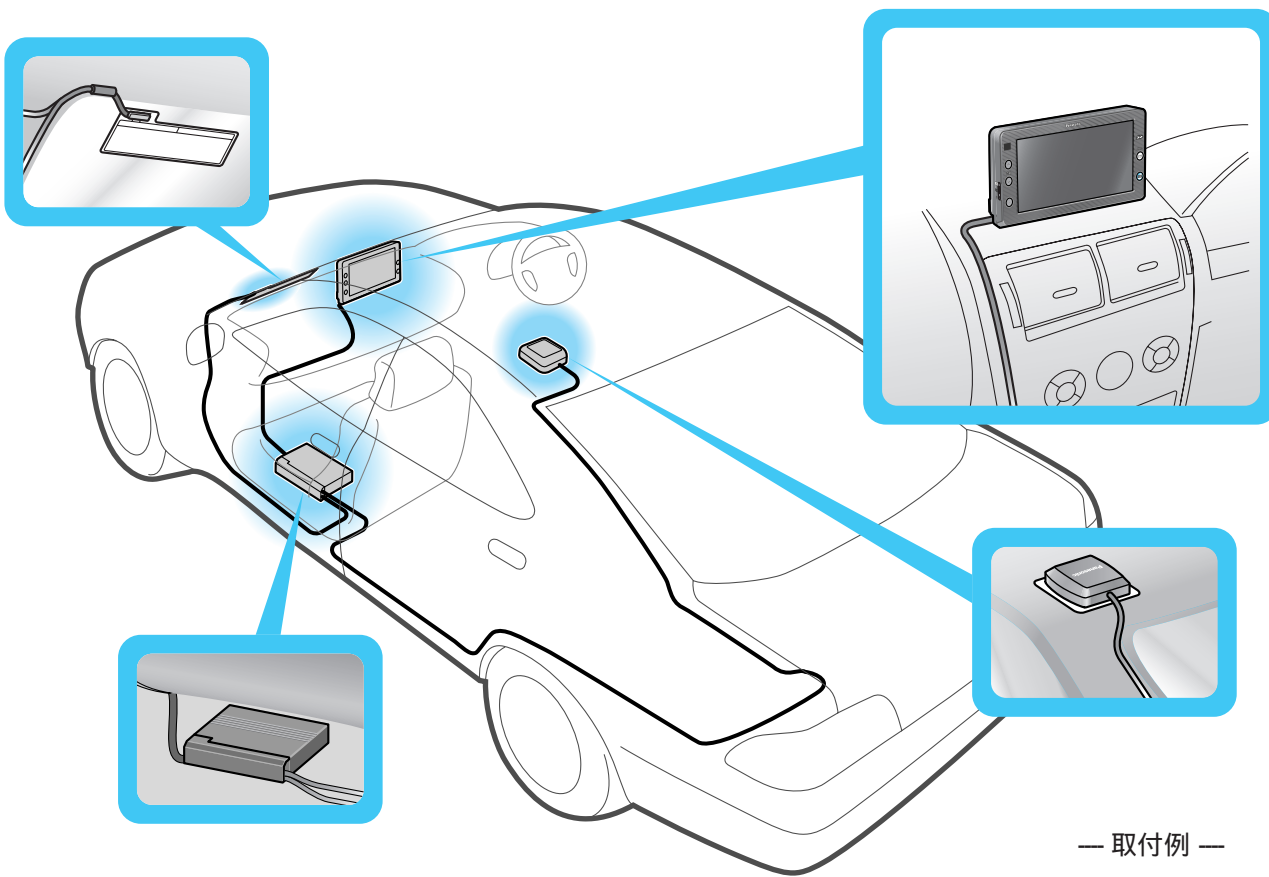
Panasonic®

取付説明書

設置と接続

7V型HDDカーナビステーション

品番 **CN-HS400D**



— 取付例 —

取り付け・配線の前に、取扱説明書(ナビゲーションの準備・基本編)の「安全上のご注意」と「使用上のお願い」を必ずお読みください。

お客様へのお願い
 本機の取り付け、配線には専門の技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

販売店様へのお願い
 本機の取り付け後、この取付説明書は必ずお客様へご返却ください。

この説明書は再生紙を使用しています。 PRINTED WITH SOY INK™ この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

内容物の確認

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

- | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------------|--|---|-----------------------------|--------|
| ① ナビゲーション本体 | ② リモコン | 単3形乾電池 (2個) | リモコンホルダー | 両面テープ | ③ スタンド |
| ④ タッピンねじ
スタンド取付用 (5個) | ⑤ クッション材
スタンド取付用 | ⑥ スタンドカバー | ⑦ フィルムアンテナ | ⑧ アンテナコード (5.5 m) | |
| ⑨ アース板保護シール | ⑩ 作業用ヘラ | ⑪ 補助シール
フィルムアンテナ
仮止め用 | ⑫ GPSアンテナ
防水ゴム
(コード: 6 m) | ⑬ 保護シート
GPSアンテナ
車外取付用 | |
| ⑭ 金属シート
GPSアンテナ
車内取付用 | ⑮ ジャンクションボックス(TVチューナ) | ⑯ コネクターカバー | ⑰ 本体接続コード (3.5 m) | ⑱ 取付用ブラケット | |
| ⑲ ベース金具 (2個) | ⑳ 両面テープ (2個) | ㉑ 座付き六角ナット (4個) | ㉒ マジックテープ (2個) | ㉓ サイドブレーキ延長コード (若葉色: 90 cm) | |
| ㉔ リバース延長コード (紫/白: 90 cm) | ㉕ 車速信号中継コード (桃色: 1.5 m) | ㉖ コードクランパー
電源コード・フィルム
アンテナ取付用 (7個) | ㉗ コードクランパー
GPSアンテナ取付用 (5個) | ㉘ 圧着式コネクター (3個) | |
| ㉙ クリーニングクロス
ディスプレイ用 | ㉚ クリーナー
ダッシュボード用 | ㉛ 取付ゲージ
取付角度測定用 | 取扱説明書: ナビゲーションの準備・基本編
取扱説明書: ナビゲーションの操作編
取付説明書(本書)
仮保証書 兼ユーザー登録ハガキ | | |

松下電器産業株式会社
 パナソニック オートモーティブ システムズ事業グループ

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地
 お客様相談センター 電話 ☎ 0120-50-8729
 一般電話 045-929-1265 (携帯電話・PHSなど)
 FAX 045-938-3244
 受付 9:00~17:00(土・日・祝日・弊社休日を除く)
 一般電話、およびFAXをご利用の際の通信料は、お客様のご負担となります。

取り付け・配線の前に

取り付ける前に部品を確認してください。

取り付けには、一般工具、カッターナイフ、布きれなどが必要です。ボルト、ナット、ねじの取り付けは寸法があった工具を使用し、まっすぐ確実に行ってください。

別売の機器でシステムアップする場合には、必ず指定品をお使いください。
(裏面「他の機器(別売品)と組み合わせて使う」)
また、各機器の説明書をよくお読みになり、正しく使用してください。

安全に正しくお使いいただくためのお願い

安全のため、必ずバッテリーの⊖端子をはずしてから作業してください。

必ず付属品や指定の部品を使用し、説明に従って正しく設置・配線してください。

取り付け・配線等に、保安部品(ステアリング、ブレーキ系統、タンクなど)のボルト・ナット・ビスなどを絶対に使わないでください。

DC12V⊖アース車で使用してください。

分解・修理、および改造をしないでください。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回してください。

安全のため、必ずサイドブレーキコードを接続して使用してください。

コードを傷つけたり、挟み込むなど破損しないように引き回してください。
(ドアやシート移動時など)

運転や視界の妨げになる場所に絶対に取り付けしないでください。

エアバッグのカバー部分や作動の妨げになる場所に、絶対に取り付けしないでください。

作業終了後、確実に取り付け・配線されていること、および車の電装品が正しく動くことを必ず確認してください。

ナビゲーション本体の取り付けかた

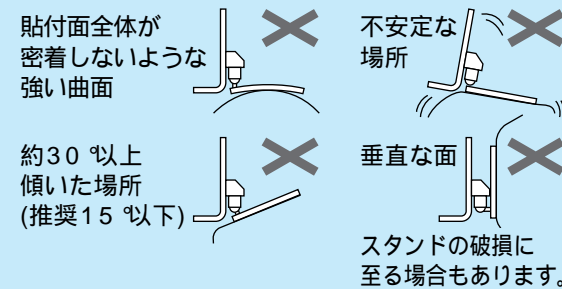
取り付ける前に

ナビゲーション本体をスタンドに仮止めし、取り付け位置を確認してください。
スタンドは、一度取り付けした後、はがすと粘着力が弱くなるため、貼りなおしができません。

ダッシュボード用クリーナーで設置面の汚れ(ごみ、油など)をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
気温が低いときは、設置面をドライヤーなどで温めてください。

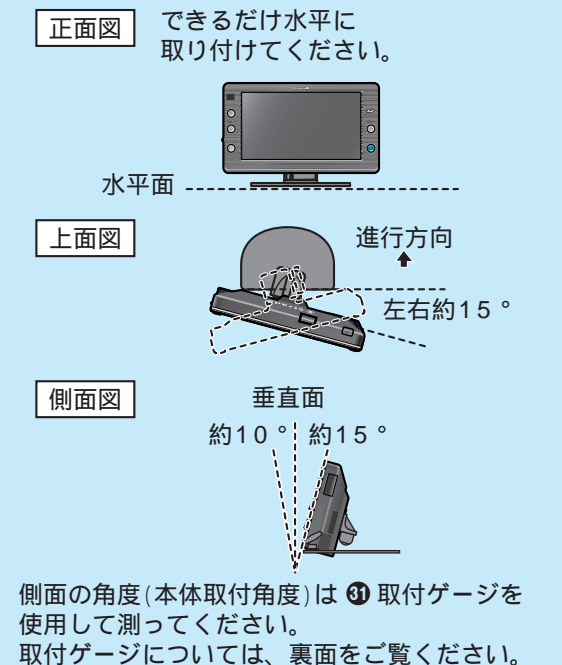
取付位置について

指定のスタンドを使用し、はずれたり落下しないように、しっかり取り付けて安定させてください。
下記のような場所には絶対に取り付けしないでください。落下する原因になります。



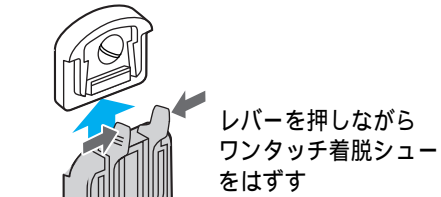
取付許容範囲について

本機はジャイロを内蔵しています。自車位置を正しく表示させるため、必ず下記の範囲内の角度で取り付けてください。



1 ナビゲーション本体をスタンドに仮止めし、取り付け位置を確認する

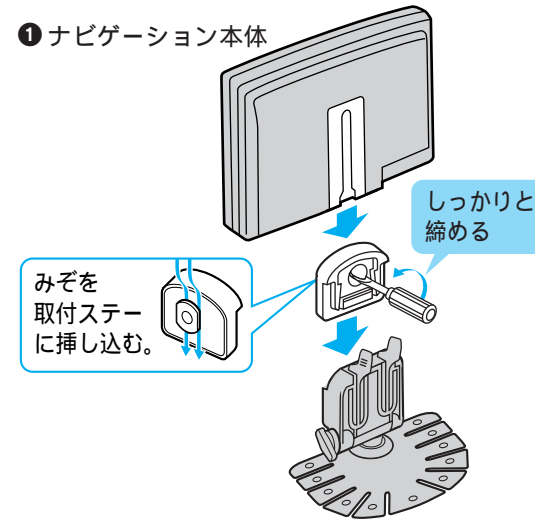
① ワンタッチ着脱シューを取りはずす。



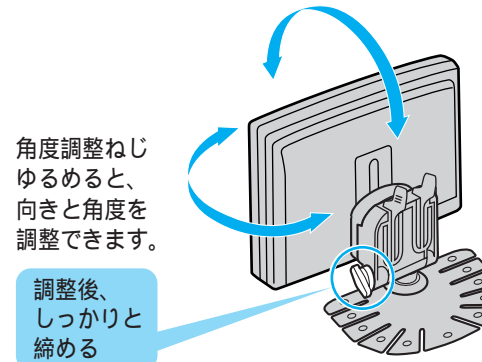
③ スタンド

② ワンタッチ着脱シューをナビゲーション本体に差し込み、スタンドに取り付ける。

① ナビゲーション本体



③ 取り付ける高さや向きを確認する。



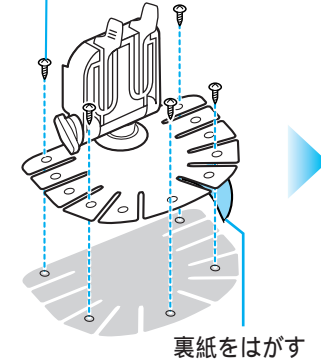
④ スタンドからナビゲーション本体をいったん取りはずす。

2 スタンドをダッシュボードに取り付ける

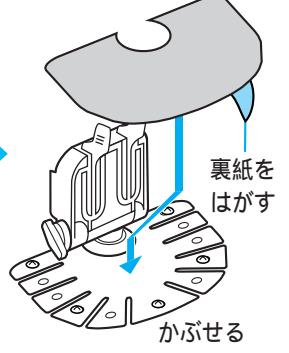
① スタンドをダッシュボードに取り付ける。

スタンドを設置面に強く押し付けて、確実に密着させてください。
安全のため、**付属のねじで固定**してください。
(ダッシュボードに穴が開くことをご了承ください。)

④ タッピンねじ(4~5カ所)



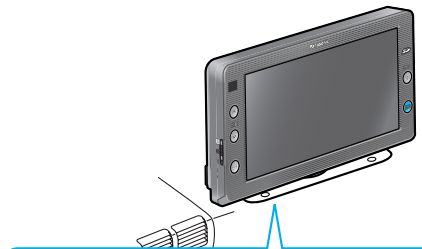
⑥ スタンドカバー



固定力を強くするため、ナビゲーション本体を取り付けずに24時間以上放置してください。
設置面(ダッシュボード)が平らでないときはスタンドをダッシュボードの形状に合わせて曲げてください。

24時間以上経過したら...

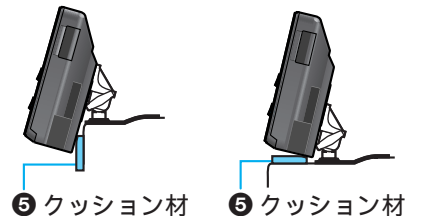
② ナビゲーション本体をスタンドに取り付ける。



ダッシュボードにナビゲーション本体が近接するときは

振動でノイズが発生する原因になります。クッション材を貼り付けてナビゲーション本体を安定させてください。

- 取付例 -



フィルムアンテナの取り付けかた

取り付ける前に

アンテナは、運転者の視界を妨げない位置に、はがれないようしっかり取り付けてください。

付属のフィルムアンテナは、車内取り付け型の簡易アンテナです。

電波の受信状態が悪く、テレビの映りやFM多重の受信がよくない場合は、別売のダイバーシティアンテナ (CL-T70D/CL-T80D/CL-T90D) を使用してください。

車種によって、取り付けられない場合があります。熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合、受信感が極端に低下します。お買い上げの販売店に相談してください。

付属の補助シールで仮止めして、取り付ける位置を確認してください。

フィルムアンテナは、一度取り付けした後、はがすと粘着力が弱くなるため、貼りなおしができません。

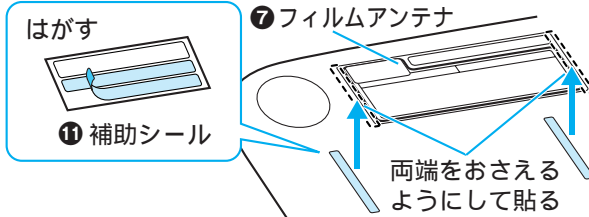
・設置面(ガラス面)のごみ、油、汚れなどをきれいに拭き取ってください。

・ダッシュボードや車内に水がかからないように、シートやタオルなどで保護してください。

フロントウインドウに取り付ける場合(推奨)

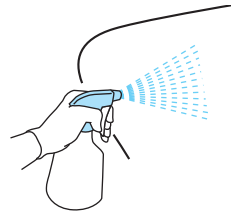
1 アンテナを貼り付ける

- ① 補助シールでフィルムアンテナをガラス面に仮止めし、貼る位置を決める。



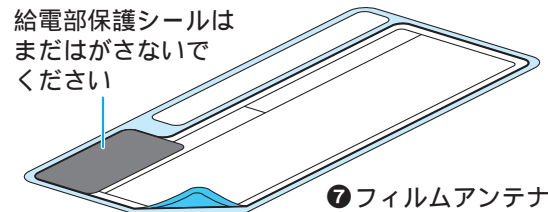
位置を決めたら、アンテナはいったんはずしておきます。

- ② フィルムアンテナを貼り付けるガラス面に、霧吹きなどで均一に水を吹き付ける。



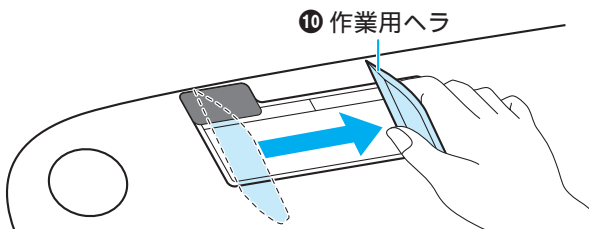
- ③ フィルムアンテナを台紙からはがし、ガラス面に貼り付ける。

折り曲げたり、引っ張ったりしないでください。断線の原因になります。のり面は、汚さないでください。



- ④ 作業用ヘラでフィルムアンテナの気泡を取り除き、フィルムアンテナ周辺の水分を拭き取る。

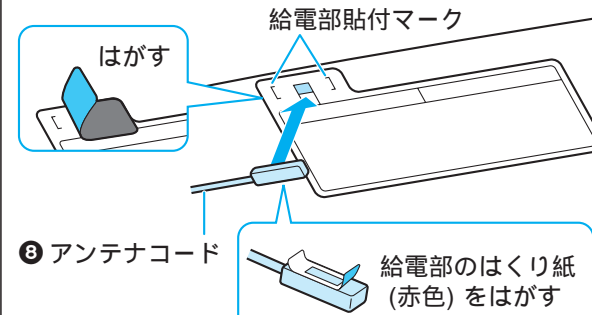
強くこすりつけないでください。フィルムアンテナに傷が付いたり、断線の原因になります。



- ⑤ 2~3時間そのまま放置し、十分に乾燥させる。

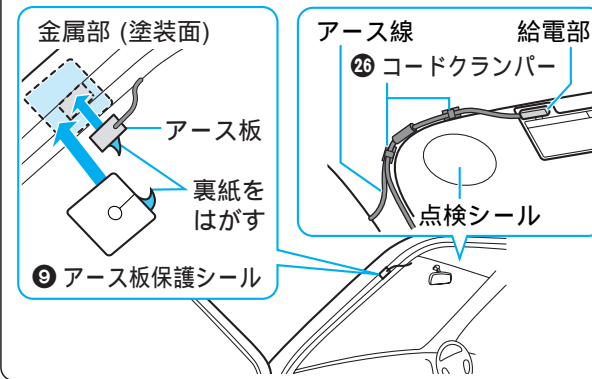
2 アンテナコードを取り付ける

- ① フィルムアンテナの給電部保護シールをはがし、アンテナコードの給電部をフィルムアンテナの給電部貼付マークに合わせて貼り付ける。



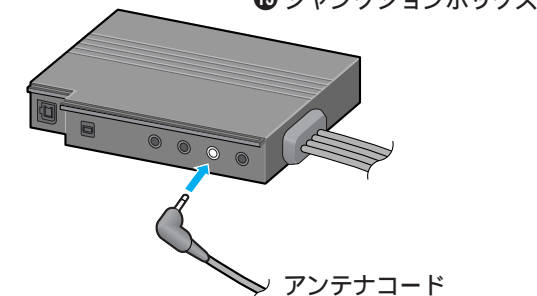
- ② アース板を前席ドア内側などの金属部(塗装面)に貼り付けて、コードを引き回す。

金属部の塗装をヤスリなどではがす必要はありません。貼付面のごみ、油、汚れなどをきれいに拭き取ってください。



3 アンテナコードをジャンクションボックスに接続する

必ず、右から2番目(灰色)のVICS端子に接続してください。右から2番目のVICS端子が、FM多重放送およびテレビ放送受信用です。



リアウインドウに取り付ける場合

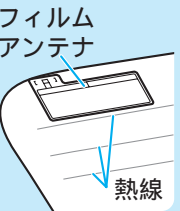
ハッチバックタイプの車は、リアウインドウに取り付けることもできます。

ただし、ウインドウの角度によっては、電波を受信しにくい場合があります。また、ハッチバックタイプ以外の車はアース板を配線しにくいいため、十分な性能が得られません。

お願い

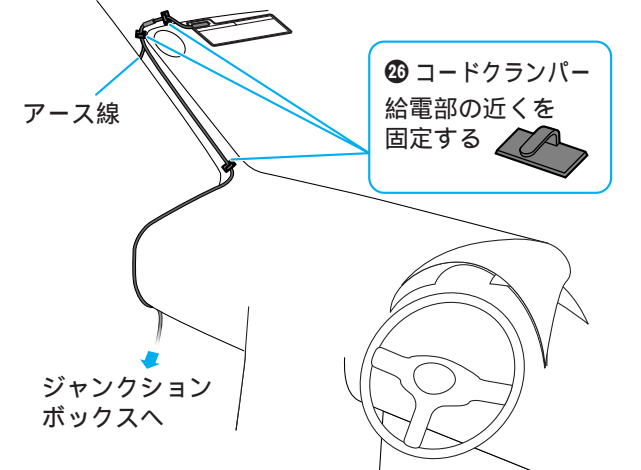
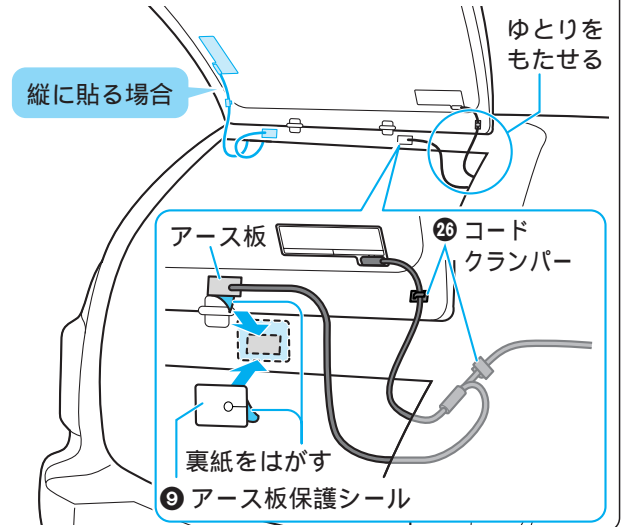
リアウインドウにアンテナが内蔵されている場合は、電波が干渉するため取り付けられません。お買い上げの販売店に相談してください。

熱線と重ねないでください。ノイズが発生する原因になります。また、熱線の端子部には絶対に重ねないでください。ショートや発熱の原因になる場合があります。



配線について

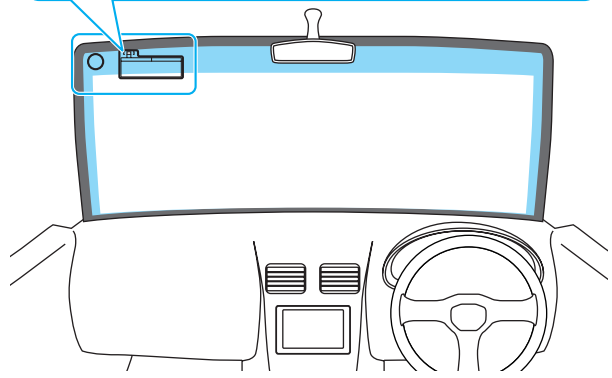
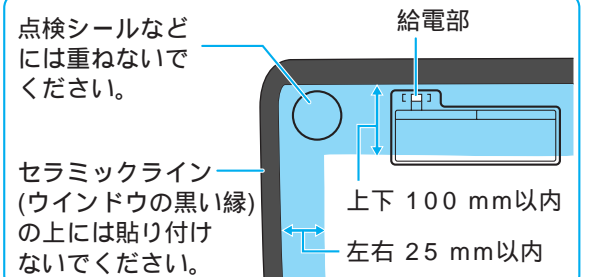
ドアの開閉時にコードに無理な力が加わらないよう適度なゆとりを持たせてください。



取付許容範囲(部)について

国土交通省の定める保安基準に適合させるため、アンテナの給電部は、取付許容範囲内に取り付けください。

保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条第4項第7号に対する、平成11年12月27日付の運輸省(当時)告示第820号をいいます。



GPSアンテナの取り付けかた

取り付ける前に

設置面の汚れ（ごみ、油など）をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
気温が低いときは、設置面をドライヤーなどで温めてください。

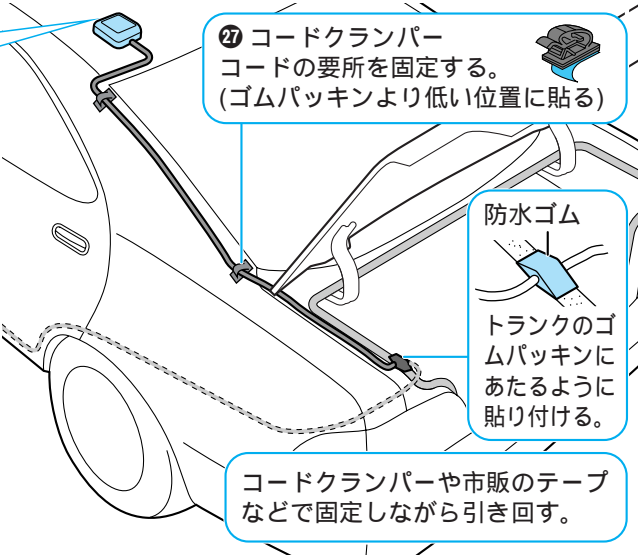
車外に取り付ける（推奨）

1 ルーフの平らな面に取り付ける。



ルーフキャリアの近く、またはトランクリッドなどに取り付けると、GPS衛星からの電波を受信しにくくなります。

2 トランクに雨水が入らないようにコードを引き回す。 トランクリッド開閉時に、コードに無理な力が加わらないよう、ゆとりを持たせてください。



お願い

GPSアンテナに塗料やワックスを塗らないでください。また、雪などが積もった場合は取り除いてください。GPS衛星からの電波を受信しにくくなります。洗車などのときは、必ずGPSアンテナを取りはずしてください。取りはずすときは、コードを引っ張らないでください。故障や傷つきの原因になります。

ダッシュボードやリアトレイの上（中央部のガラス付近）に水平に取り付ける



コードをドライバーなど先のとがったもので押しつけないでください。コードが傷つき故障の原因になります。

17 コードクランパー 要所を固定する。



お知らせ

車内にGPSアンテナを取り付けると、受信しにくくなり、電波状態によっては自車位置を誤って表示することがあります。受信状態が良くない場合は、車外に取り付けてください。

車体の形状や電波を通さない一部のウィンドウガラスにより、電波がさえぎられることがあります。お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」（操作編）に相談してください。

お願い

金属シートは、
・必ず、付属の金属シートを使用してください。
・折り曲げたり、切って小さくしないでください。
あまったアンテナコードをまとめるときは、ナビゲーション本体から30 cm以上離してください。
GPSアンテナに時計や磁気カードを近づけないでください。故障したり、使えなくなる場合があります。

ジャンクションボックスの取り付けかた

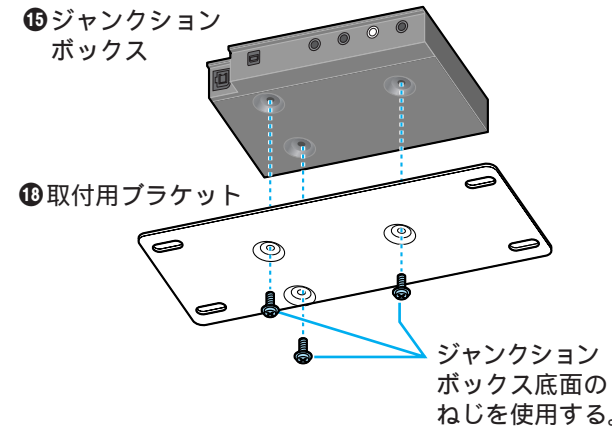
取り付ける前に

設置面の汚れ（ごみ、油など）をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
気温が低いときは、設置面をドライヤーなどで温めてください。

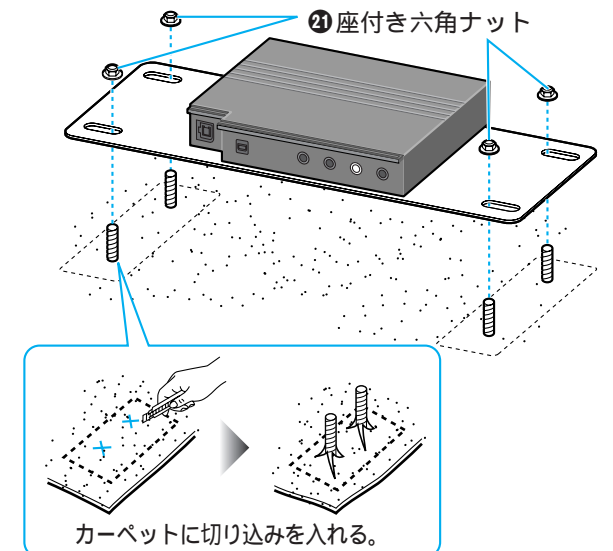
専用の金具で取り付ける場合（推奨）

1 ブラケットをジャンクションボックスに取り付ける。

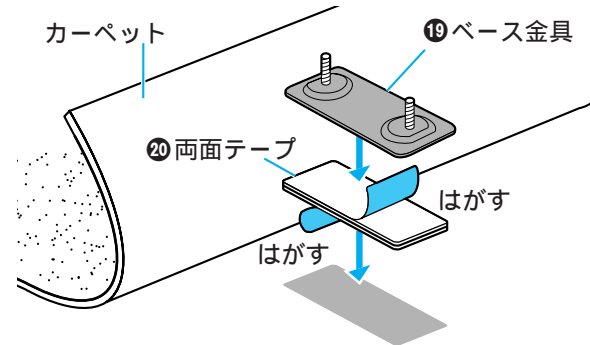
安全のため、必ず底面のねじをお使いください。



3 ブラケットを金具で固定する。



2 ベース金具を床に取り付ける。



お願い

故障の原因になりますので、以下の場所には取り付けないでください。

直射日光のあたる場所やダッシュボード、リアトレイ等の著しく熱くなる場所
水のかかるところ、足でふまれるところ
エアコンの吹き出し口付近や発熱する物の付近
ほこりの多いところ

マジックテープで取り付ける

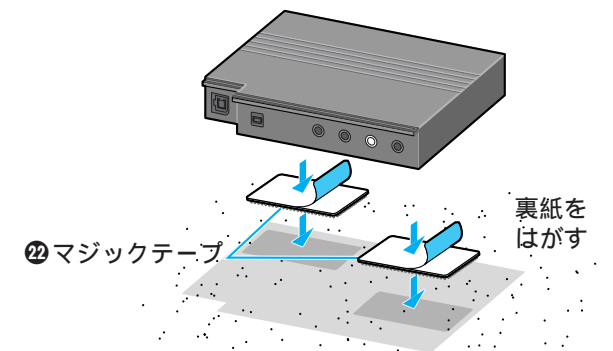
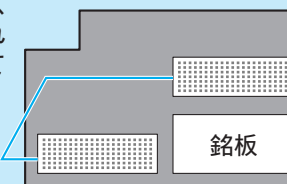
付属のマジックテープを使用し、カーペットなどに取り付ける。

お願い

(ジャンクションボックス底面)

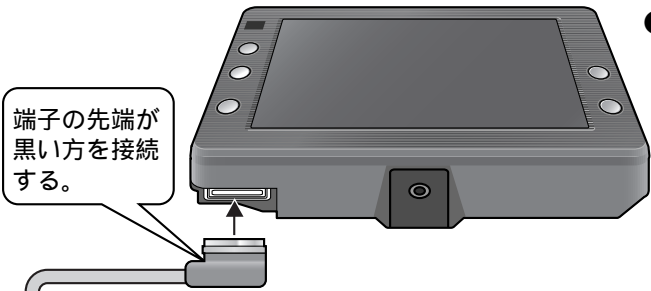
ジャンクションボックス底面の銘板などが隠れないように貼り付けてください。

22 マジックテープ

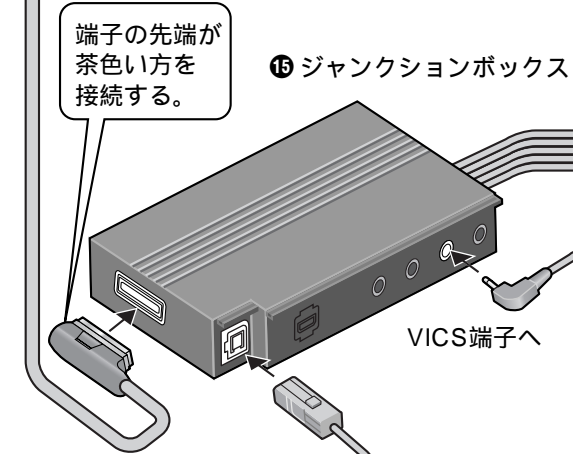


配線のしかた

① ナビゲーション本体



① 本体接続コード(3.5 m)



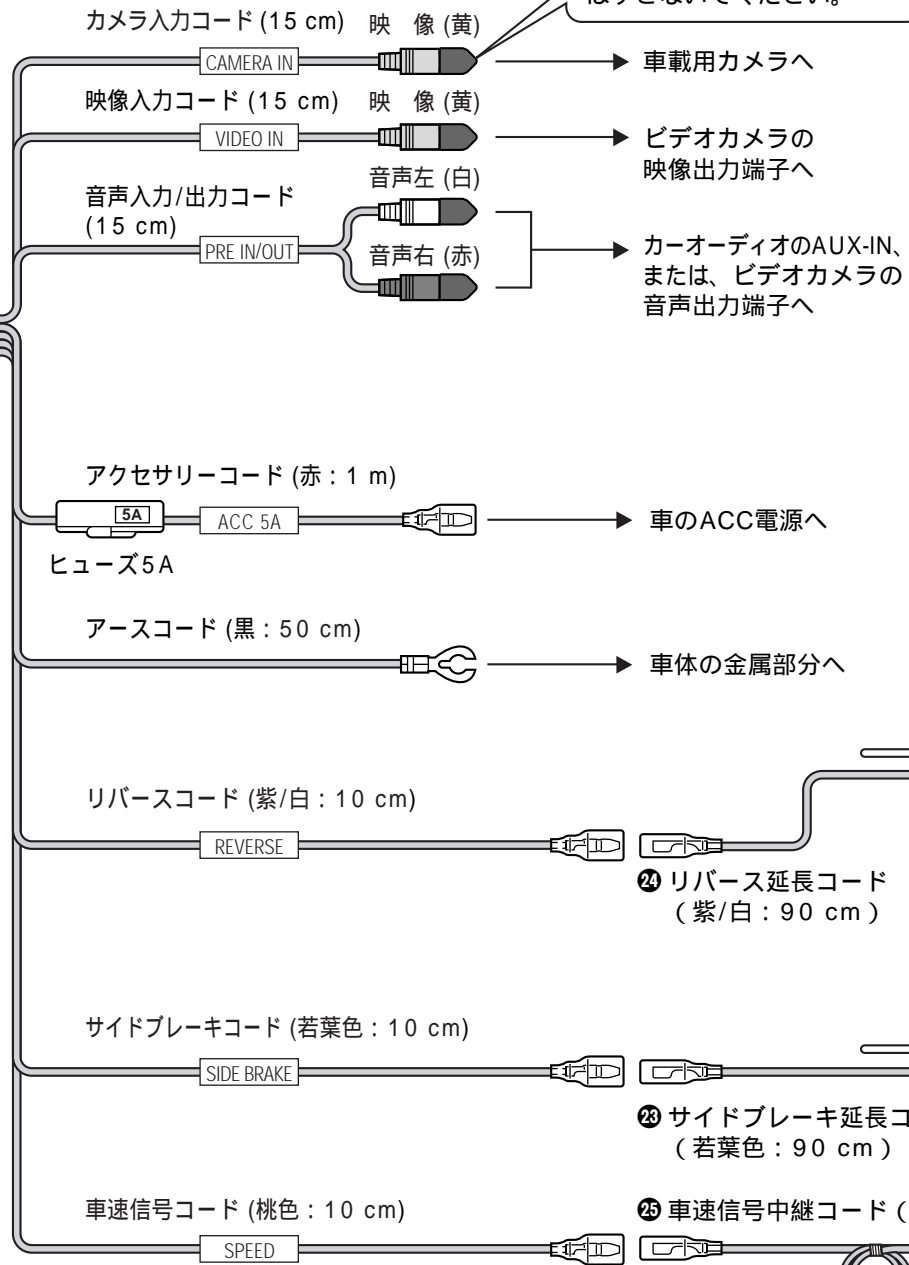
⑤ ジャンクションボックス

VICS端子へ

⑫ GPSアンテナ
(コード6 m)

⑦ フィルムアンテナ
(VICS)

③ アンテナコード
(5.5 m)



使用しないときはキャップをはずさないでください。

コネクターカバーの取り付けかた

⑬ コネクターカバー

コネクターカバーの突起部分をジャンクションボックスの溝に合わせ、スライドさせて取り付け

溝 (側面)

端子を保護するため、配線後は必ずコネクターカバーを取り付けてください。

コード類をまとめて引き出す

圧着式コネクターの取り付けかた

サイドブレーキコードなど

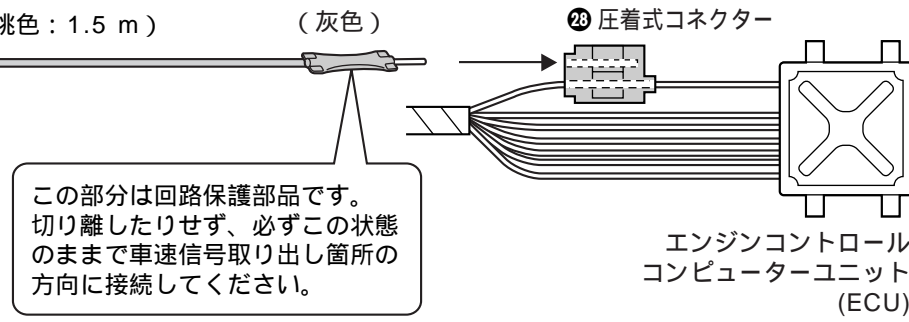
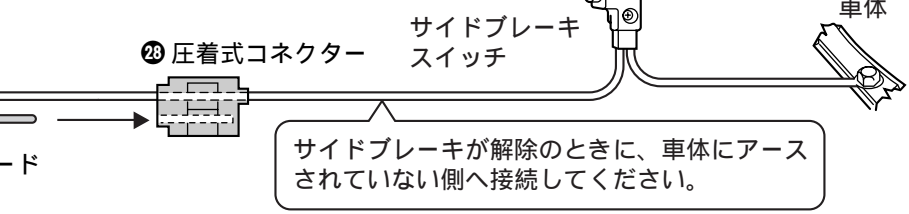
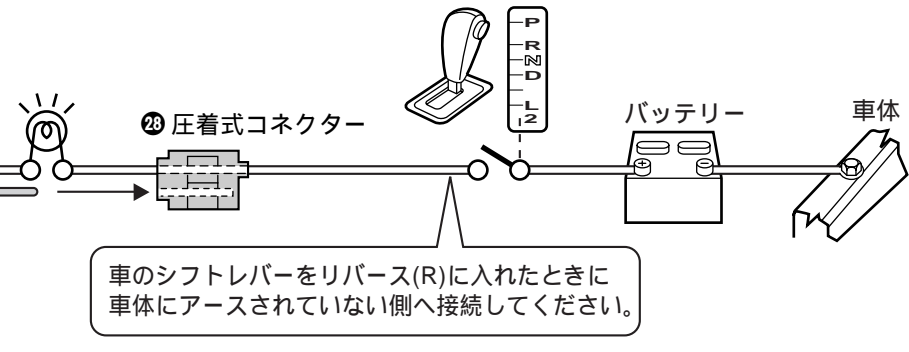
突きあたりまで確実に差し込む

⑭ 圧着式コネクター

エレメントを確実に押し込む

パチ

エンジンスイッチにACCポジションがない場合は、バッテリー上がりになるため、お買い上げの販売店に相談してください。



ロック付きコードの取りはずしかた

① 本体接続コード

⑫ GPSアンテナのコード

押しながら取りはずす

押しながら取りはずす

無理に引っ張ると、破損することがあります。必ず、ロックが解除されていることを確認してから取りはずしてください。

お願い

車速信号取り出し箇所は、車種・年式・エンジン形式によって異なりますので、お買い上げの販売店に相談してください。必ず付属の車速信号中継コードをご使用ください。

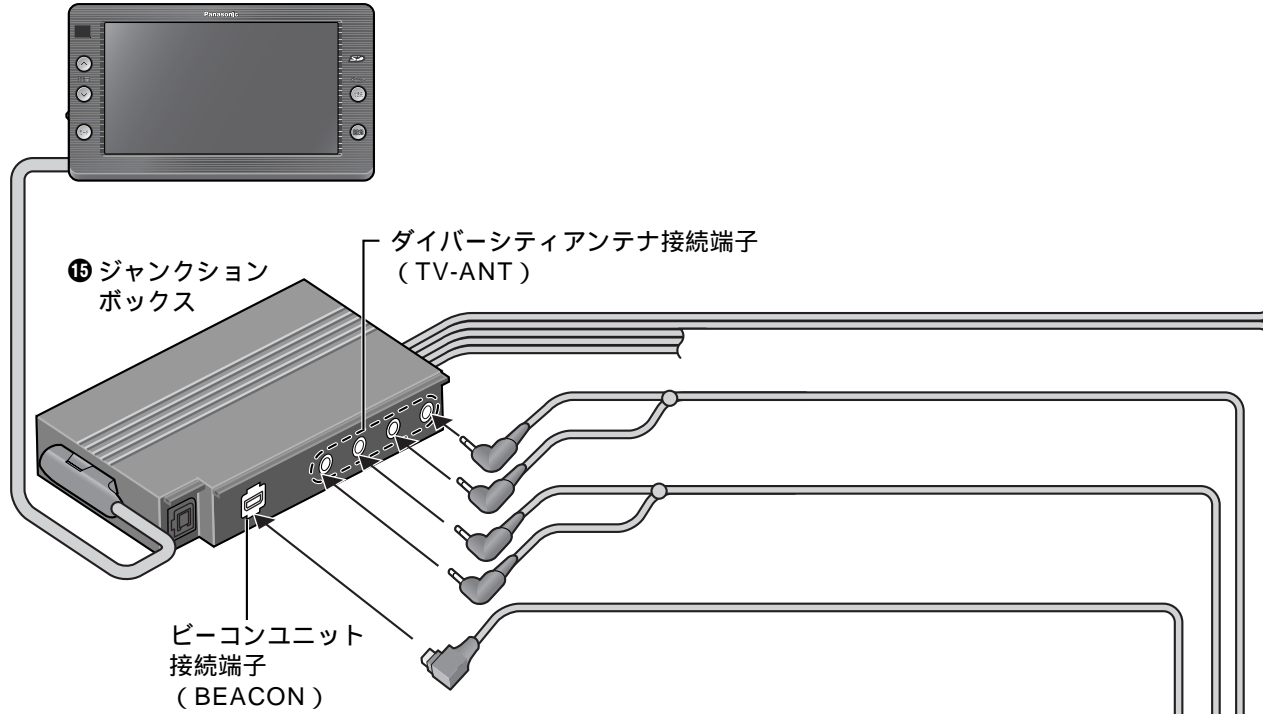
あまったコードは切らずに束ねてください。

この部分は回路保護部品です。切り離したりせず、必ずこの状態のままに車速信号取り出し箇所の方向に接続してください。

エンジンコントロールコンピューターユニット (ECU)

他の機器(別売品)と組み合わせて使う

① ナビゲーション本体



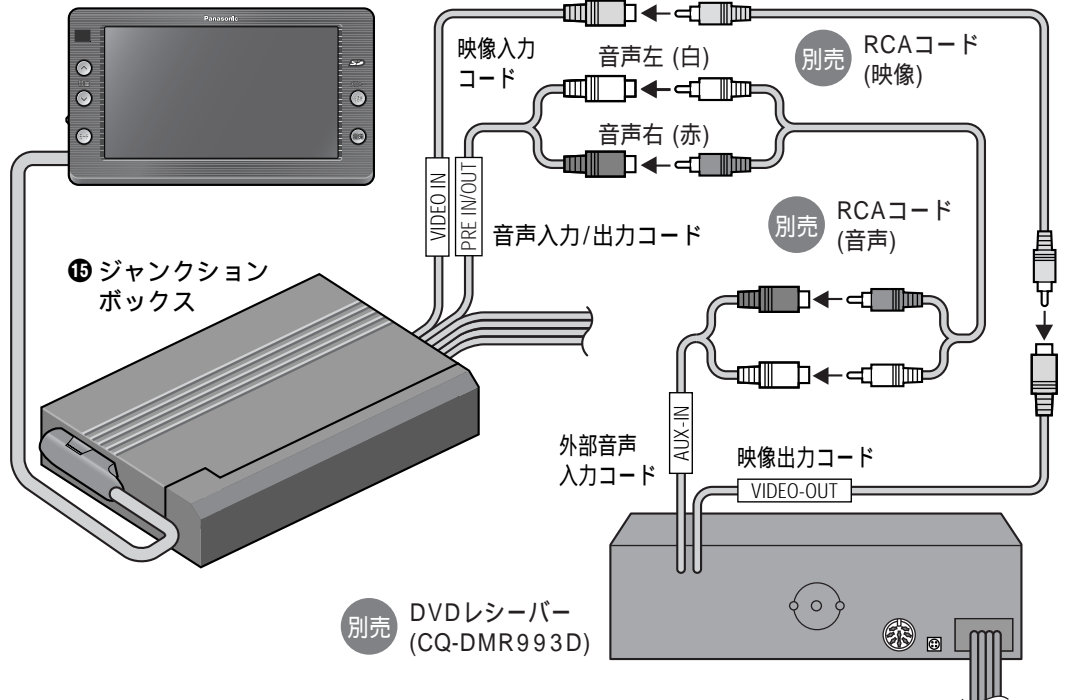
別売 カーオーディオ

品番: CQ-DMR993D (例)

カーオーディオを接続し、本機の音声を車載のスピーカーから出力できます。操作方法については、取扱説明書をご覧ください。

「AV音声出力」を「する」に設定してください。(※操作編:「音声/映像の設定を変える」)

① ナビゲーション本体

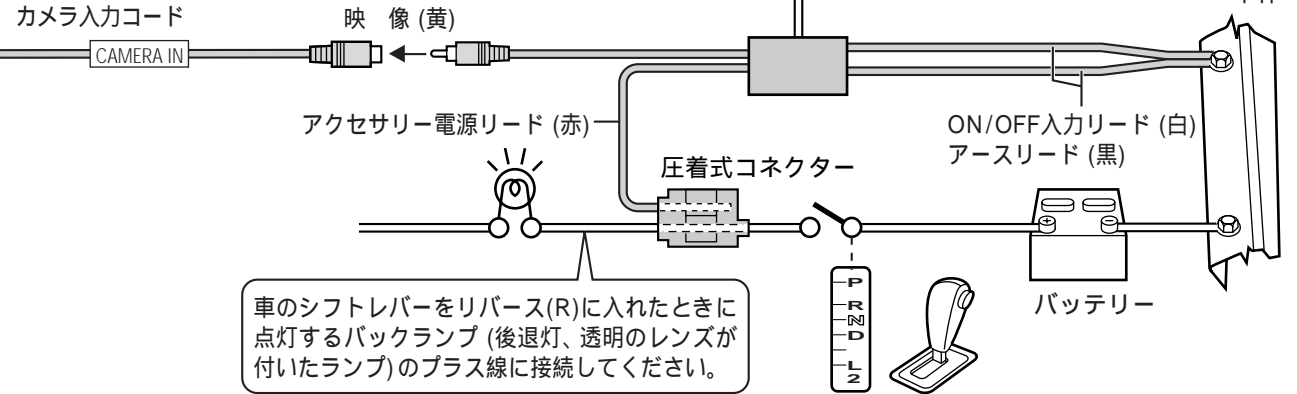


別売 車載用カメラ

品番: TW-CC160B (例)

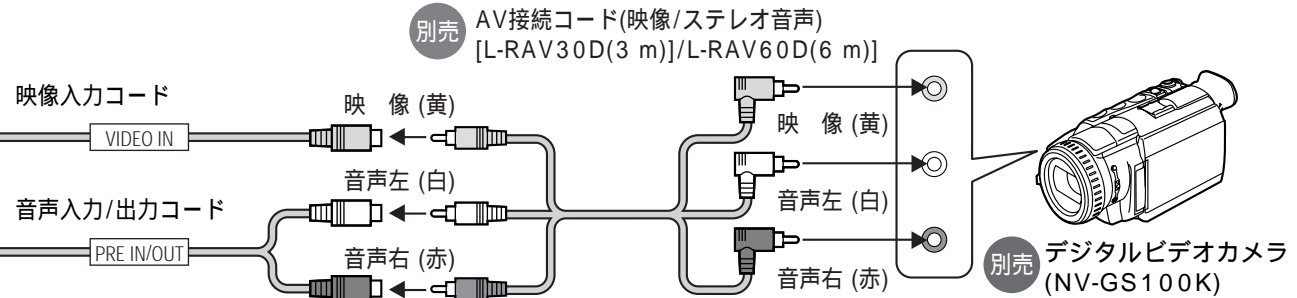
車載用のバックカメラを接続できます。操作方法については、取扱説明書をご覧ください。

必ず「カメラ入力」を「する」に設定してください。(※操作編:「音声/映像の設定を変える」)



別売 デジタルビデオカメラ

品番: NV-GS100K (例)



別売 ダイバーシティアンテナ

品番: CL-T70D (例)

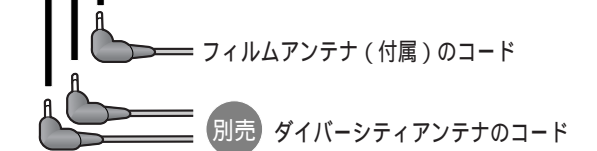
車内でテレビを見るときに、付属のフィルムアンテナに比べて受信状態が安定します。

必ず「ダイバー設定」を「ON」に設定してください。(※操作編:「音声/映像の設定を変える」)



アンテナコードが左右1本ずつのダイバーシティアンテナを接続する場合は

ダイバーシティアンテナを、左の2つの端子に接続してください。付属のフィルムアンテナを、灰色の端子に接続してください。



別売 VICSビーコンユニット

品番: CY-TBX55D

電波/光ビーコンからVICS情報を受信できます。操作方法については、取扱説明書をご覧ください。



お知らせ

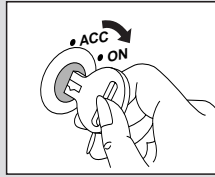
電波不透過ガラス装着車両では、電波ビーコンが受信できないことがあります。販売店に相談してください。赤外線反射ガラス装着車両では、光ビーコンが受信できないことがあります。販売店に相談してください。

取り付け・配線の確認

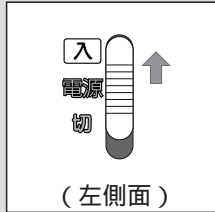
本機を正しく動作させるため、下記の手順で取り付け・配線を確認してください。

① 電源を入れる

1 車のエンジンをかける。
またはACCに入れる。



2 ナビゲーション本体の電源スイッチを「入」にする。
オープニング画面表示後、警告画面が表示されます。
オープニング画面表示中は、車を発進させないでください。システムを起動する準備をしています。



3 注意事項を確認して、**確認**にタッチする。



4 GPS信号 (GPS) を受信していることを確認する。(準備・基本編:「準備・確認」)



② 車両信号を確認する

1 を押す。



2 **情報・設定** **システム情報** にタッチする。



3 **車両信号情報** にタッチする。



4 確認する。

- ① 「GPSアンテナ」「リバース」「サイドブレーキ」「スピード」「ACC電圧」を確認する。(右記)
- ② **パルスリセット** にタッチして、「車速パルス」をリセットする。
同じように、「学習レベル」「ジャイロ角度補正」「3Dジャイロ補正」をリセットする。
- ③ 現在地画面を表示させ、平均時速20km以上で見通しの良い場所をしばらく(30分程度)走行したあと、「車速パルス」「学習レベル」「ジャイロ角度補正」「3Dジャイロ補正」を確認する。

手順3で**拡張ユニット情報**を選ぶと、拡張ユニット画面が表示されます。



車両情報信号画面



車両情報信号画面

GPSアンテナ	ON表示になっていますか？
リバース	別売の 車載用カラーカメラ(TW-CC160Bなど)を接続している場合、チェンジレバーをR(リバース)に入れると、ON表示に変わりますか？
サイドブレーキ	サイドブレーキを引くと、ON表示に変わりますか？
スピード	自車の速度を表示します。
ACC電圧	約12V(11V~16V)になっていますか？
本体取付確認 1	停車中に 本体取付確認 を選ぶと、本体の取付状態がチェックされます。 チェック完了後、「本体が正常に取り付けられています。」と表示されますか？ 「取付説明書で、本体の取り付けを確認してください。」と表示されたときは、表面の「ナビゲーション本体の取り付けかた」をご覧になり、ナビゲーション本体がしっかりと取り付けられているか確認してください。
車速パルス 2	パルスリセット を選ぶと、「0」にリセットされます。 走行後、数字が変化していますか？
学習レベル (距離補正の精度)	レベルリセット を選ぶと「レベル1」にリセットされます。 走行後、数字が変化していますか？ (レベル3が最も誤差の少ない状態)
ジャイロ角度補正	補正リセット を選ぶと、「未補正」にリセットされます。 走行後、「補正完」になっていますか？
3Dジャイロ補正	センサーリセット を選ぶと、「未補正」にリセットされます。 走行後、「補正完」になっていますか？

- 1 必ずリモコン操作で確認してください。タッチパネルで操作すると、タッチ操作時の振動で正しくチェックされない場合があります。
- 2 車から出力される車速パルスに一定の係数(車速補正係数)をかけて距離を算出し、より正確な自車位置を地図画面上に表示させることができます。(全自動距離補正システム)

お知らせ

次の場合にも「車速パルス」「学習レベル」「ジャイロ角度補正」「3Dジャイロ補正」をリセットし、再度補正してください。

- ・別の車に本機を載せかえた
- ・タイヤを交換した
- ・タイヤをローテーションした

市街地などで渋滞・停車を頻繁に繰り返すコースや右左折が多いコース、またGPS信号を受信しにくいコースでは補正処理に時間がかかり、学習内容に誤差が出ることがあります。

車種によっては、スピードをあげると自車マークが動かなくなることがありますが、補正処理を行っている間は故障ではありません。

3 本体取付角度を設定する

- 1 情報・設定 システム情報
取付角度設定 にタッチする。

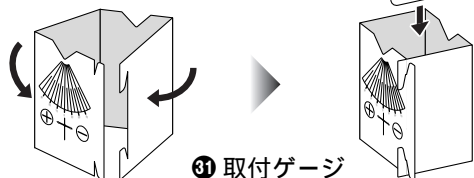


- 2 取り付け角度を設定する。
調整範囲： -10度 ~ +15度 (5度ステップ)



取付角度の測りかた

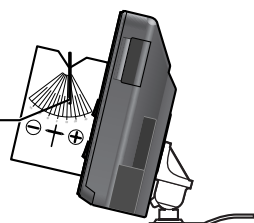
- ① 取付ゲージを組み立てる。



① 取付ゲージ

- ② 車体が水平になる場所で取付ゲージをナビゲーション本体のモニター前面に図のようにあて、本体の取付角度を測る。

この部分が示す角度を見る



お願い

取付ゲージを折ったり曲げたりしないでください。正確な角度が測れなくなります。ナビゲーション本体を取りはずし、再度取り付ける場合にも取付角度設定が必要となります。ゲージは大切に保管してください。

VICSビーコンユニットの接続やSDメモリーカードの挿入を確認する
拡張ユニット画面を表示する。(左ページ)



メモリーカード	別売のSDメモリーカードを挿入すると、ON表示に変わりますか？
ビーコンユニット	別売のVICSビーコンユニット(CY-TBX55D)を接続している場合、ON表示になっていますか？

FMトランスミッター機能を確認する

- FMラジオの受信周波数をFM76.0 MHzに合わせる。
- テレビ画面に切り替える。
- テレビの音声FMラジオのスピーカーから聞こえるかを確認する。

車のFMアンテナの位置によっては、FMトランスミッターが受信しにくく、ノイズの原因になります。

お願い

FMトランスミッターがラジオ放送と混信するときは、FMトランスミッターの周波数を変更してください。
(☞操作編：「音声/映像の設定を変える」)

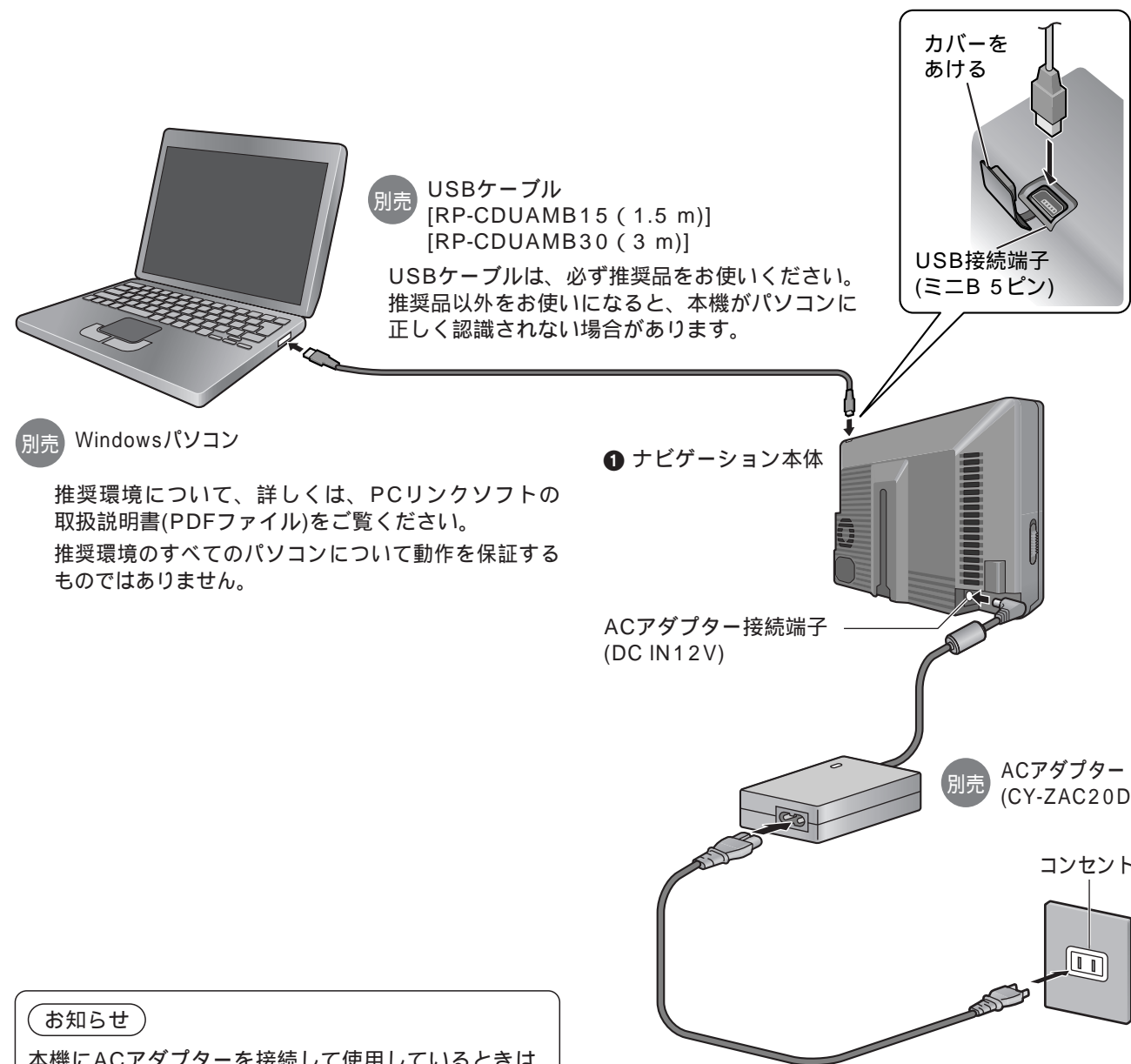
FMトランスミッターを使用しないときは、「しない」に設定してください。
(☞操作編：「音声/映像の設定を変える」)

ノイズ防止のため、フィルムアンテナのコード、GPSアンテナのコード、電源コードはナビゲーション本体や他のコード類からできるだけ離してください。また、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。テレビ、FMラジオ、FMトランスミッターの音声に雑音が入る原因になります。

ACアダプター・USBケーブルを接続して使う

USBケーブルでパソコンと接続して、最新データ(ランドマーク更新データなど)や音楽・静止画・動画などをダウンロードすることができます。(☞操作編：「他の機器(別売品)と組み合わせて使う」)
最新データはHD-naviダウンロードサイト(URL: <http://download.mci-fan.jp/download/com/user/menu>)にリリースされます。

パソコンと接続して使うときには、家庭用電源に接続することをお奨めします。



別売 USBケーブル
[RP-CDUAMB15 (1.5 m)]
[RP-CDUAMB30 (3 m)]

USBケーブルは、必ず推奨品をお使いください。推奨品以外をお使いになると、本機がパソコンに正しく認識されない場合があります。

カバーをあける

USB接続端子
(ミニB 5ピン)

別売 Windowsパソコン

推奨環境について、詳しくは、PCリンクソフトの取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。
推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

① ナビゲーション本体

ACアダプター接続端子
(DC IN12V)

別売 ACアダプター
(CY-ZAC20D)

コンセント

お知らせ

本機にACアダプターを接続して使用しているときは、下記の制限があります。

VICS情報は受信できません。
TV放送やFM多重放送は受信できません。
現在時刻は表示されません。
(地図画面には「- - : - -」と表示されます)
ファイルの保存や地点などの登録を行うと、登録日時、アルバム名の日時等が正しく保存されません。
走行軌跡が一部表示されない場合があります。

お願い

専用のACアダプター以外は使用しないでください。故障の原因になります。
本機にACアダプターを接続しないときは、コンセント側も抜いてください。